

## 学校評価 保護者の声

保護者の皆様，学校評価への御協力，ありがとうございました。

皆様から様々な御意見・御指摘を頂戴しました。教職員の指導に対する感謝の言葉もいただき，私たちは，今後ますます，子どもたちのために日々の教育活動に専念しようという思いを強くしています。いただいた御意見を検討し，改善に生かしていきたいと考えています。一部，要約して紹介し，回答を添えています。

### 1 教育活動全般への要望

- アンケートなのに記名式？と思いました。他の保護者からお話を聞いたりしますが，記名式だと厳しい意見は，あまり出ないだろうなと思います。私としては，本年度の学校に対して厳しい意見はありません。むしろ，こんな状況なのに，たくさん工夫し，様々な行事を行ってくれて感謝しかありません。子どもたちのこと，学校行事等，御尽力くださり，ありがとうございます。

御意見，ありがとうございます。今年度から学校評価の記述欄を記名式にしたのは，様々な御意見や御質問等に真摯に向き合い，検討したことを皆様に回答することが一番の理由です。記名式にした今回も，率直な御意見等が多数，寄せられています。是非，地域・家庭・学校が真に連携し，子どもたちを健全に育てていくために，今後も互いに意見を交流させ，よりよい桜町小学校をつくっていきたいと考えています。

- 読書をたくさんさせてほしいです。
- プログラミングの授業を増やしてほしいです。
- いつも書いていますが，体力づくりにもう少し力を入れてほしいと思います。行事等で特定の時期に行うのではなく，年間を通して少しずつ行うものや，何かができるようになるまで努力するようなものがあるとよいと思います。

読書活動は，御指摘のとおり，児童の豊かな情操を育むために重要だと考えています。現在，図書司書やボランティアのみなさんの御努力のお陰で，大変充実した取組が展開されています。今後も，さらに，よい本との出会いがあるよう努めていきます。

プログラミング教育につきましては，学習指導要領に基づき，今後，算数科，理科，総合的な学習の時間等において，論理的思考を身に付けさせていきます。

体力向上は，本校が目指す児童像の「明るくたくましい子」に直結する課題です。本校では，習慣化の一環として毎朝「ランラントラック走り」を全校で取り組んでいます。また，運動会や冬のオリンピック等，行事と体育科の学習を関連付けた指導を展開しています。今回，保護者の皆様から前年比6ポイント以上高い評価をいただいています。コロナ禍の状況でも，自ら健康管理を行い，体力向上を図る力を共に付けていきましょう。

- 宿題をもう少し増やしてもよいかと思えます。
- いろいろと大変な状況ですが、先生方には、もっと笑顔でいていただきたいと思えます。
- いつもお世話になっております。元気に学校に通っており、先生方には毎日頭が下がる思いです。特にありませんが、理科の先生の授業が面白くないと度々こぼしております。理科はとても大事な教科なので、つまらないと言っているのが少し心配です。
- いつもお世話になっております。ここ最近、「学校に一番に行く。」と張り切って登校しています。桜町小は、子どもに積極的に係などを任せているところがよいと思えます。子どもたちが挨拶をしてくれるのも、うれしくなります。担任の先生の影響で、「自分でやるから！」という言葉が増え、前にも増して意見をはっきり言うようになりました。子どもからの要望としては、「もっと先生たちの子ども時代の話の授業に入れてもらえると、楽しいのに。」とのこと。今後ともよろしく願いいたします。

宿題に関しては、学級担任や学習内容によって、内容や量が異なります。今後、改善していかなければならないのは、家庭学習の充実です。自ら課題を見付け、取り組む自主的な学習を行う習慣を身に付けさせる手立てを考えていきます。

私達大人の笑顔は、子どもにとって何よりの精神安定剤であり、安心して生活するために必要なものだと思います。学校・家庭がともに、子どもたちを笑顔で見守っていくこと、そして、指導すべきことは毅然とした態度で教え、よりよい方向へ導くことが大切ですね。

## 2 情報提供・連絡方法について

- 欠席させる際、頻繁に電話がつながらないことがあり、非常に不便です。折角、アプリがあるのならば、双方向の連絡が可能となるよう、機能を拡張し、欠席の連絡をアプリでできるようにするか、メール等、電話以外の連絡方法を考慮してほしいです。学校に持参すべきものは、年間、または、学期ごとのスケジュールを明確にいただき、プリント以外にもアプリを併用するなど、前広な周知を徹底ください。
- 電話の連絡網は、できれば廃止してほしいです。特に、やめていただきたいと思ったのが、「一斉メールを送ったから見てほしい。」という電話連絡です。連絡先の保護者の方が仕事している方で、忙しい中、そのような内容を回すのは申し訳ない気持ちになりました。こちらに転校する前の学校でも一斉メールだけで、うまく連絡できていたので、電話の連絡は極力少なくしてほしいです。

欠席等の連絡や情報提供につきましては、現在、電話連絡や連絡帳で承っています。家庭と学校双方にとって、安全且つ効率的な手段で導入可能なものがあれば、今後検討したいと思えます。

電話連絡網につきましては、個人情報保護の観点から取り扱いには十分配慮する必要がありますが、安全安心メールだけでは、非常時に確実に情報を発信することが困難な場合があります。考えなければならないのは、取り扱いや使用の在り方です。原則として、連絡網を使用するのは、緊急性のある情報を伝達する場合であることを共通理解したいと思えます。

### 3 学校行事について

- 長崎、地元の伝統文化、歴史、史跡を伝えていってほしい。自分たちが活動、活躍したこの場所で、何が起こったのか、かつて偉人が何を考えたのか、礎を少しでも感じるような体験、教育を是非お願いします。
- 桜っ子くんちを先日初めて観させていただいたのですが、本格的な川船にとっても感動しました。くんちに触れて長崎の文化が学べる桜町小学校に通えること、とてもうれしく思います。

桜っ子くんちは、本校の特色ある学校づくりにおける象徴的な行事です。本校の教育活動において欠かすことのできないもので、大きな教育的な意義を有しています。地域の指導者の皆様方が、仕事の合間を縫って、何度も来校し、直接子どもたちに稽古を付けてくださいます。子どもたちは、本物に触れ、様々な力を身に付けていく中で、地域の伝統文化や歴史の奥深さや郷土を愛する心情を高めていきます。学びの主体者である子どもが、その意義を理解し、誇りに感じることでできる取組をこれからも重ねてまいります。

- コロナ禍の状況ではありましたが、運動会の時間差開催は大変ありがたかったです。一度に保護者が運動場に集まると、人が多く我が子を探しているうちに演技が終わってしまい、お弁当のときしか一緒にいることができず、とても大変だと感じていました。しかし、今回は、時間的にもちょうどよく、保護者、児童とも集中できていたと感じます。他学年を見ることも教育の一環というのは理解していますが、5月の暑さと人の多さ、児童の集中力を外から見ていると学年ごとに実施してもよいように思いました。暑いときは児童の集中力が3～4時間ももちません。今回は、私たち大人も集中できましたし、児童も疲労感がなく、生き生きと演技や種目に取り組んでいたように思います。前例ばかりに倣うのではなく、こういうことをきっかけに、学校・家庭双方にとって、よりよい運動会となることを強くお願いしたいです。
- コロナ禍において、学校の取組は十分だったと思います。しかし、我が子がいる6年生の2学期の行事が忙しすぎて体力、精神面での持続が心配でした。今年度は、この形でしか全てを実現するのは難しかったと思いますが、このような状況は来年度以降も続くと思いますので、行事の実施時期等について御再考いただき、子どもたち、及び、先生方にも、もう少しゆとりのある日々になってくれることを願います。一年間、大変お世話になりました。

今年度は、一つ一つの行事を実施できるか否かの判断が突き付けられた年となりました。私たちは、端から無理だと決めつけず、どうしたら実施できるかという視点で、改めて行事の意義を見直し、計画を練り直し、検討協議を重ね実施に漕ぎつけました。当然、昨年度どおり、従来どおりというわけにはいかず、内容や実施時期等、難しい課題もありましたが、地域・保護者の皆様の御理解と子どもたちの頑張りで充実した行事となりました。今回の経験は私たちにとって大きな財産となりました。今後も、厳しい状況があるかもしれませんが、子どもたちに身に付けさせる力を明確にしながら、よりよい行事を模索していきます。

- 懇談会や授業参観を含む行事予定などについて、できれば一か月前までに御案内いただけると大変ありがたいです。当月の御案内ですと仕事の調整がつかない場合が多くありますので、どうぞ御検討いただけると幸いです。できるだけ、すべての行事に参加させていただきたいと思っております。
- 授業参観、懇談会を含む学校行事について、一か月程度前までに日時をお知らせいただくと助かります。お知らせが、当月中であったため、仕事が調整できず参加できないことがありました。できる限り参加したく、御検討いただけますと幸いです。

御指摘、ごもっともです。年間、及び、学期毎の主な行事につきましては、予めプリントでお知らせしていますが、月行事につきましても、できるだけ早い段階でお知らせし、皆様に可能な限り、子どもたちの頑張る姿や普段の学習の様子をご覧いただけるよう努めます。

#### 4 生活指導・安全面について

- 子どもたちにも、マスクの着用を指導していると思いますが、先生方もマスク着用を徹底していただければと思います。話しづらい、息苦しい、声を通らないなどあるとは思いますが、感染者が増えてきているので、冬に向けて感染予防に努めるようお願いいたします。

コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、2学期末に再度、子どもたちへ指導を徹底し、職員間でも危機意識をもつよう確認をしました。現在、教師も子どももマスクを確実に着用し、手洗いや換気の徹底、消毒作業の実施などに努めています。今や誰が感染してもおかしくない状況です。謂れなき誹謗中傷が感染以上に怖いという現実もあります。今後、子どもたちが安心して健康に生活できる環境を私たち大人がつくり、万が一のことが生じたとしても、子どもたちに恥じない振る舞いを手本として示さなければと強く思います。

- いつでも誰でも学校に自由に入出りできるのが気になります。授業中で人の出入りが少ない時間は門を施錠し、インターホンで確認してから開錠するなどしていただけると安心です。暗証番号を設定し、保護者自身で開錠するというシステムもありました。

安全管理の重要性は、重々承知しております。しかしながら、現在の長崎市の小中学校においては、御提案のようなシステムは予算の都合上、導入が難しい状況です。現有職員やPTA会員の皆様とともに可能な限りの安全対策を講じていきます。

- 体育の授業のとき、肌着を脱がなければいけない理由を知りたいです。汗を吸わせるために、できれば肌着は着用させたいし、高学年の女の子たちも、脱がないといけないのかなと思うと、恥ずかしいだろうな…と心配になります。ちなみに前の学校では、汗をかきやすい時期は替えの肌着を持って行っていました。
- 体操服のゼッケンにフルネームを書くのを止めていただきたいです。名札は氏名が見えないような工夫がなされていましたが、何か同様に対策をお願いいたします。

体育科学習時の肌着着用については、衛生面を考慮し、可とします。その際は、着替用の肌着を持たせてください。もちろん、従来どおり体操服のみの着用でも構いません。機能性や衛生面につきまして、御家庭でも十分御指導お願いします。

体操服のゼッケンは、全校児童を全職員で見守り、指導していくという観点から今後も継続していきたいと考えています。但し、児童の安全を考え、体操服のまま登下校することの無いよう指導していきます。御理解・御協力をお願いいたします。

- 10月に用事があって息子の教室へ行きました。3階から2階へ階段を下りると、2階から男性教諭の怒鳴り声が聞こえてきて大変ショックでした。その児童がなぜ起こられたのか知りませんが、あのような感情に任せた怒鳴り方は認めてはいけないことだと思います。その後、その児童が通学できているのか心配です。怒られた児童だけでなく、見たり聞いたりすることで辛く感じる子もいるはずです。このようなことは、決してないようお願い申し上げます。
- 子どもたちは大きくなるにつれ、心や身体の変化にとっても敏感になりますよね。親であっても子どもの学校での生活は見えないもので、口数も少なくなっていく子もいると思います。親から聞かれるといやだと思うことでも、先生には言えることもあるのではないかなと思います。また、家での悩みも第三者には言えるかもしれません。ペーパー回答では、言い表せない表情込みの言葉を、堅苦しくない「個人面談」という形で他愛のない話もしつつ、その子を見てほしいなと思っています。「最近、授業ついていける?」「友達との喧嘩とか何か言われたことある?」「家で、お母さん、お父さんに思うことある?」などなど、2学期の終わりぐらいに実施できないのでしょうか。先生方もお忙しいでしょうから難しいとは思いますが、あったらいいなあと考えています。
- コロナ対策や爆破予告対策など、学校の先生方の急な事案等への対応につきまして、大変感謝しております。

3年生は、体も心も大きく変化、成長する時期なのか、子ども同士の小さな、小さなトラブルが、公私にわたって、見聞きすることが多かったように思います。本来、保護者が見守ることが一番だとは思いますが、少しずつ親の知らない世界も増えてきて…。学校生活の中での御指導にも大変期待しております。子どもたちの言葉遣いの変化、発言など、今後も御指導くださるよろしくをお願いいたします。

感情に任せて子供を叱るのは、指導ではありません。大声で怒鳴る、長時間規律させたままにする等、体罰に当たる行為につきましては、厳に慎むよう再度、全職員で確認し、徹底します。

子ども一人一人の深い理解に基づく、個に応じた指導を心掛け、職員同士で声を掛け合いながら教育活動を進めていきます。